

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年8月13日
【四半期会計期間】	第92期第3四半期（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）
【会社名】	伊藤忠食品株式会社
【英訳名】	I TO CHU - SHOKUHI N Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 濱口 泰三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区城見二丁目2番22号
【電話番号】	(06)6947-9811
【事務連絡者氏名】	執行役員経本部長 小池 俊一
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区城見二丁目2番22号
【電話番号】	(06)6947-9811
【事務連絡者氏名】	執行役員経本部長 小池 俊一
【縦覧に供する場所】	伊藤忠食品株式会社 東京本社 （東京都中央区日本橋室町三丁目3番9号） 伊藤忠食品株式会社 東海営業本部 （名古屋市熱田区川並町3番14号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第3四半期連結 累計期間	第92期 第3四半期連結 累計期間	第91期 第3四半期連結 会計期間	第92期 第3四半期連結 会計期間	第91期
会計期間	自平成20年 10月1日 至平成21年 6月30日	自平成21年 10月1日 至平成22年 6月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 6月30日	自平成22年 4月1日 至平成22年 6月30日	自平成20年 10月1日 至平成21年 9月30日
売上高(百万円)	457,404	435,211	156,854	145,092	622,181
経常利益(百万円)	3,396	4,360	972	1,231	5,103
四半期(当期)純利益(百万円)	1,867	2,348	494	706	3,584
純資産額(百万円)	-	-	52,413	55,157	54,216
総資産額(百万円)	-	-	185,500	181,481	174,596
1株当たり純資産額(円)	-	-	4,083.29	4,297.00	4,223.76
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	145.56	182.98	38.51	55.00	279.34
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	145.52	182.98	38.51	-	279.26
自己資本比率(%)	-	-	28.3	30.4	31.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,427	1,681	-	-	4,734
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	3,450	117	-	-	3,729
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	832	882	-	-	852
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	16,382	20,072	19,390
従業員数(人) (外、平均臨時雇用者数)	-	-	1,115 (432)	1,055 (437)	1,062 (431)

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 第92期第3四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営む事業の内容に重要な変更はありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成22年6月30日現在

従業員数（人）	1,055（437）
---------	------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成22年6月30日現在

従業員数（人）	787（69）
---------	---------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は（ ）内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注および販売等の状況】

(1) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を商品分類別に示すと次のとおりであります。

商品分類	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビール	35,690	10.7
和洋酒	22,399	3.7
調味料・缶詰	23,415	8.8
嗜好・飲料	31,448	4.6
麺・乾物	10,351	9.6
冷凍・チルド	7,684	3.2
ギフト	8,969	16.5
その他	5,133	3.8
合計	145,092	7.5

(注) 1 発泡酒およびビール風アルコール飲料(第3のビール)の販売実績は「ビール」に含んでおります。

2 前第3四半期連結会計期間および当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績および総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
(株)セブン・イレブン・ジャパン	18,682	11.9	19,435	13.4

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を商品分類別に示すと次のとおりであります。

商品分類	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビール	34,256	11.0
和洋酒	20,792	4.0
調味料・缶詰	21,880	7.6
嗜好・飲料	28,965	4.0
麺・乾物	9,535	9.5
冷凍・チルド	6,807	2.9
ギフト	11,574	7.3
その他	848	2.2
合計	134,660	6.8

(注) 1 発泡酒およびビール風アルコール飲料(第3のビール)の仕入実績は「ビール」に含んでおります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

4【財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国経済は、アジア向け輸出の増加や、一部企業業績に回復傾向が見えはじめたものの、欧州の財政不安による円高・株安の進行や緩やかなデフレ状態の継続などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品流通業界におきましても、先行きに対する不透明感から消費者の節約志向、低価格志向は払拭されず、企業の価格競争は激化するなど、当社グループを取り巻く経営環境も厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、主要取引先である大手量販店、コンビニエンスストアなど組織小売業との取引強化を進めたものの、酒類卸売業や一部地域量販店との取引減少や前期に実施した連結子会社の売却などにより、当第3四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比較7.5%（117億62百万円）減少の1,450億92百万円となりました。

営業利益は、売上高の減少による売上総利益の減少はあったものの売上総利益率の改善により減少幅が僅少に留まったことに加え、物流関連コスト削減などによる販売費及び一般管理費の減少により、前年同期比較22.9%（1億79百万円）増加の9億64百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加や持分法損益の改善により、前年同期比較26.5%（2億58百万円）増加の12億31百万円となりました。

四半期純利益は、経常利益の増加および特別損失の減少などにより、前年同期比較42.8%（2億11百万円）増加の7億6百万円となりました。

(2) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,814億81百万円となり、前連結会計年度末と比べ68億85百万円の増加となりました。主な要因は、季節要因による売上債権や商品在庫の増加などにより流動資産が89億2百万円増加したこと、固定資産の償却や投資有価証券の時価評価などにより、固定資産が20億17百万円減少したことなどによるものです。

負債は、1,263億24百万円となり、前連結会計年度末と比べ59億44百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産の増加と同様、季節要因による仕入債務の増加などにより、流動負債が63億37百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、551億57百万円となり、前連結会計年度末と比べ、9億40百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が15億27百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が5億86百万円減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は200億72百万円となり、第2四半期連結会計期間末に比べ23億92百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、29億26百万円の収入（前年同期は80億90百万円の収入）となりました。主な資金増加要因は、税金等調整前当期純利益12億14百万円、仕入債務の増加198億87百万円などによるものであり、資金減少要因は、売上債権の増加112億70百万円、たな卸資産の増加43億64百万円および未収入金の増加29億43百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億2百万円の支出（前年同期は20億61百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億31百万円の支出（前年同期は4億7百万円の支出）となりました。主な資金減少要因は、配当金の支払額4億10百万円などによるものです。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対応すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成22年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成22年8月13日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	13,032,690	13,032,690	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	13,032,690	13,032,690	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成22年4月1日～ 平成22年6月30日	-	13,032	-	4,923	-	7,161

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成22年3月31日）にもとづく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成22年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 194,200	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 6,500	-	
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,828,200	128,282	-
単元未満株式(注)	普通株式 3,790	-	-
発行済株式総数	13,032,690	-	-
総株主の議決権	-	128,282	-

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式7株が含まれております。

【自己株式等】

平成22年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 伊藤忠食品株式会社	大阪市中央区城見 2-2-22	194,200	-	194,200	1.49
(相互保有株式) 株式会社スハラ食品	北海道小樽市堺町 1-8	6,500	-	6,500	0.05
計	-	200,700	-	200,700	1.54

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年10月	平成21年11月	平成21年12月	平成22年1月	平成22年2月	平成22年3月	平成22年4月	平成22年5月	平成22年6月
最高(円)	3,200	3,080	3,160	3,150	3,070	3,025	3,025	2,968	3,035
最低(円)	3,050	2,885	2,915	3,040	2,931	2,950	2,971	2,756	2,812

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

氏名	新	旧	異動年月日
岩城 彰	取締役専務執行役員機能部門管掌 (兼)人事総務本部本部長(兼)社長 室室長	取締役専務執行役員機能部門管掌 (兼)経営企画本部本部長(兼)経営企 画部部长(兼)人事総務本部本部長 (兼)社長室室長	平成22年5月1日

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）にもとづいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）および前第3四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成21年6月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則にもとづき、当第3四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）および当第3四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成22年6月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則にもとづいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、前第3四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）および前第3四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表ならびに当第3四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）および当第3四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,072	10,690
受取手形及び売掛金	75,869	71,105
有価証券	6,000	8,700
商品及び製品	14,293	10,521
未収入金	18,357	18,383
その他	1,638	2,183
貸倒引当金	237	494
流動資産合計	129,994	121,091
固定資産		
有形固定資産	1 26,343	1 27,371
無形固定資産		
のれん	5	7
その他	981	947
無形固定資産合計	986	955
投資その他の資産		
投資有価証券	14,609	15,429
その他	10,433	10,459
貸倒引当金	885	709
投資その他の資産合計	24,157	25,178
固定資産合計	51,487	53,505
資産合計	181,481	174,596
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,364	107,694
未払法人税等	785	862
賞与引当金	696	1,094
役員賞与引当金	49	51
その他	8,724	7,579
流動負債合計	123,620	117,282
固定負債		
退職給付引当金	292	284
役員退職慰労引当金	7	7
設備休止損失引当金	21	24
その他	2,382	2,781
固定負債合計	2,704	3,097
負債合計	126,324	120,379

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,163
利益剰余金	43,259	41,732
自己株式	590	591
株主資本合計	54,756	53,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	400	987
評価・換算差額等合計	400	987
新株予約権	-	1
純資産合計	55,157	54,216
負債純資産合計	181,481	174,596

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	457,404	435,211
売上原価	410,106	389,019
売上総利益	47,297	46,192
販売費及び一般管理費	44,014	42,065
営業利益	3,283	4,127
営業外収益		
受取利息	111	91
受取配当金	288	284
不動産賃貸料	300	394
その他	133	106
営業外収益合計	833	877
営業外費用		
支払利息	36	38
不動産賃貸費用	179	208
持分法による投資損失	462	389
その他	42	8
営業外費用合計	721	643
経常利益	3,396	4,360
特別利益		
投資有価証券売却益	967	59
固定資産売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	7	227
設備休止損失引当金戻入額	13	-
特別利益合計	990	287
特別損失		
投資有価証券評価損	265	5
投資有価証券売却損	72	2
固定資産除却損	70	151
貸倒引当金繰入額	2	154
会員権評価損	7	0
その他	29	28
特別損失合計	447	343
税金等調整前四半期純利益	3,938	4,304
法人税、住民税及び事業税	1,858	1,719
法人税等調整額	212	237
法人税等合計	2,070	1,956
四半期純利益	1,867	2,348

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	156,854	145,092
売上原価	141,488	130,296
売上総利益	15,366	14,796
販売費及び一般管理費	14,581	13,832
営業利益	784	964
営業外収益		
受取利息	29	28
受取配当金	161	160
不動産賃貸料	104	139
その他	48	37
営業外収益合計	343	366
営業外費用		
支払利息	13	12
不動産賃貸費用	64	67
持分法による投資損失	70	16
その他	7	2
営業外費用合計	154	99
経常利益	972	1,231
特別利益		
投資有価証券評価損戻入額	34	-
投資有価証券売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	1	10
特別利益合計	35	10
特別損失		
投資有価証券評価損	-	4
投資有価証券売却損	72	2
固定資産除却損	41	18
貸倒引当金繰入額	-	1
その他	29	-
特別損失合計	144	26
税金等調整前四半期純利益	864	1,214
法人税、住民税及び事業税	241	388
法人税等調整額	128	120
法人税等合計	370	508
四半期純利益	494	706

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,938	4,304
減価償却費	1,291	1,398
持分法による投資損益(は益)	462	389
投資有価証券売却損益(は益)	895	56
貸倒引当金の増減額(は減少)	51	80
賞与引当金の増減額(は減少)	330	397
退職給付引当金の増減額(は減少)	8	35
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2	0
受取利息及び受取配当金	400	376
支払利息	36	38
固定資産除売却損益(は益)	69	151
会員権評価損	7	0
投資有価証券評価損益(は益)	265	5
売上債権の増減額(は増加)	12,240	4,763
たな卸資産の増減額(は増加)	2,477	3,772
未収入金の増減額(は増加)	280	14
差入保証金の増減額(は増加)	40	171
仕入債務の増減額(は減少)	13,357	5,669
未払金の増減額(は減少)	681	84
その他	642	921
小計	3,387	3,199
利息及び配当金の受取額	426	384
利息の支払額	35	37
法人税等の支払額	2,350	1,865
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,427	1,681
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,143	92
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	367	295
投資有価証券の取得による支出	188	340
投資有価証券の売却による収入	2,009	127
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	189	-
貸付けによる支出	6,922	6,553
貸付金の回収による収入	6,444	6,960
その他	96	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,450	117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	62	60
配当金の支払額	770	821
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	832	882
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,856	681
現金及び現金同等物の期首残高	19,238	19,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,382	20,072

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
1. 持分法の適用に関する事項の変更	(1)持分法適用非連結子会社の変更 第2四半期連結会計期間より、持分法適用非連結子会社であった(株)カジタクの株式を一部売却したことにより関係会社ではなくなったため、持分法の適用範囲から除外しております。 (2)変更後の持分法適用非連結子会社の数 4社

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
(四半期連結貸借対照表)	前第3四半期連結会計期間において、流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「未収入金」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第3四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期連結会計期間の流動資産の「その他」に含まれる「未収入金」は18,070百万円であります。

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	固定資産の年度中の取得、売却および除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算にもとづく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年9月30日)														
1 有形固定資産の減価償却累計額は、10,438百万円 であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、9,792百万円 であります。														
2 偶発債務 下記の会社の仕入債務について保証を行って おります。	2 偶発債務 下記の会社の仕入債務について保証を行って おります。														
<table border="0"> <tr> <td>㈱宝来商店</td> <td>500百万円</td> </tr> <tr> <td>㈱カジタク</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>577百万円</td> </tr> </table>	㈱宝来商店	500百万円	㈱カジタク	77	計	577百万円	<p>なお、九州伊藤忠食品㈱は、平成21年10月1日付で商号を ㈱中九食品に変更しております。</p> <table border="0"> <tr> <td>㈱宝来商店</td> <td>198百万円</td> </tr> <tr> <td>九州伊藤忠食品㈱</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>㈱カジタク</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>393百万円</td> </tr> </table>	㈱宝来商店	198百万円	九州伊藤忠食品㈱	100	㈱カジタク	95	計	393百万円
㈱宝来商店	500百万円														
㈱カジタク	77														
計	577百万円														
㈱宝来商店	198百万円														
九州伊藤忠食品㈱	100														
㈱カジタク	95														
計	393百万円														

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)																								
販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次の とおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次の とおりであります。																								
<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>26,921百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>746</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>2</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	26,921百万円	貸倒引当金繰入額	19	賞与引当金繰入額	746	役員賞与引当金繰入額	48	退職給付費用	204	役員退職慰労引当金繰入額	2	<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>26,070百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>696</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>0</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	26,070百万円	貸倒引当金繰入額	10	賞与引当金繰入額	696	役員賞与引当金繰入額	49	退職給付費用	396	役員退職慰労引当金繰入額	0
運送費・倉敷料	26,921百万円																								
貸倒引当金繰入額	19																								
賞与引当金繰入額	746																								
役員賞与引当金繰入額	48																								
退職給付費用	204																								
役員退職慰労引当金繰入額	2																								
運送費・倉敷料	26,070百万円																								
貸倒引当金繰入額	10																								
賞与引当金繰入額	696																								
役員賞与引当金繰入額	49																								
退職給付費用	396																								
役員退職慰労引当金繰入額	0																								

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)																								
販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次の とおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次の とおりであります。																								
<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>9,074百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>746</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>0</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	9,074百万円	貸倒引当金繰入額	38	賞与引当金繰入額	746	役員賞与引当金繰入額	16	退職給付費用	68	役員退職慰労引当金繰入額	0	<table border="0"> <tr> <td>運送費・倉敷料</td> <td>8,698百万円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>0</td> </tr> </table>	運送費・倉敷料	8,698百万円	貸倒引当金繰入額	16	賞与引当金繰入額	433	役員賞与引当金繰入額	16	退職給付費用	131	役員退職慰労引当金繰入額	0
運送費・倉敷料	9,074百万円																								
貸倒引当金繰入額	38																								
賞与引当金繰入額	746																								
役員賞与引当金繰入額	16																								
退職給付費用	68																								
役員退職慰労引当金繰入額	0																								
運送費・倉敷料	8,698百万円																								
貸倒引当金繰入額	16																								
賞与引当金繰入額	433																								
役員賞与引当金繰入額	16																								
退職給付費用	131																								
役員退職慰労引当金繰入額	0																								

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)								
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年6月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在)								
<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>10,982百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定に含まれる譲渡性預金</td> <td>5,400</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	10,982百万円	有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	5,400	<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>14,072百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券勘定に含まれる譲渡性預金</td> <td>6,000</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	14,072百万円	有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	6,000
現金及び預金勘定	10,982百万円								
有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	5,400								
現金及び預金勘定	14,072百万円								
有価証券勘定に含まれる譲渡性預金	6,000								
現金及び現金同等物四半期末残高	16,382百万円								
現金及び現金同等物四半期末残高	20,072百万円								

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成22年6月30日)および当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,032千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 196千株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年12月18日 定時株主総会	普通株式	410	32	平成21年9月30日	平成21年12月21日	利益剰余金
平成22年5月11日 取締役会	普通株式	410	32	平成22年3月31日	平成22年6月7日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)および
当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)および
当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)および
当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)および
当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)および
当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)および
当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 . 1 株当たり純資産額

当第 3 四半期連結会計期間末 (平成22年 6 月30日)		前連結会計年度末 (平成21年 9 月30日)	
1 株当たり純資産額	4,297.00円	1 株当たり純資産額	4,223.76円

2 . 1 株当たり四半期純利益金額等

前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年10月 1 日 至 平成21年 6 月30日)		当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	
1 株当たり四半期純利益金額	145.56円	1 株当たり四半期純利益金額	182.98円
潜在株式調整後 1 株当たり四半期 純利益金額	145.52円	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 純利益金額	182.98円

(注) 1 株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年10月 1 日 至 平成21年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成22年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益 (百万円)	1,867	2,348
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益 (百万円)	1,867	2,348
期中平均株式数 (千株)	12,831	12,836
潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数 (千株)	4	0
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	38.51円	1株当たり四半期純利益金額	55.00円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	38.51円	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(百万円)	494	706
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	494	706
期中平均株式数(千株)	12,834	12,836
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	1	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成22年5月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額・・・・・・・・・・410百万円
 - (2) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・32円
 - (3) 支払請求の効力発生日および支払開始日・・・・・・・・平成22年6月7日
- (注) 平成22年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払を行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年8月6日

伊藤忠食品株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中山 紀昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊藤忠食品株式会社の平成20年10月1日から平成21年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊藤忠食品株式会社及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年8月6日

伊藤忠食品株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中山 紀昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊藤忠食品株式会社の平成21年10月1日から平成22年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成22年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊藤忠食品株式会社及び連結子会社の平成22年6月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。